

## 氏名 秦 澄美鈴 (Sumire Hata)

陸上競技 (走り幅跳び、走高跳び)



<生年月日／出身>

1996年5月4日／大阪府八尾市

<身長>

169cm

<出身校>

大阪府立山本高校／武庫川女子大学

<所属>

シバタ工業株式会社 <https://www.sbt.co.jp/>

Twitter: [@suumlr](https://twitter.com/suumlr)

Instagram: <https://www.instagram.com/sumiiiiire0/>

応援サイト: [秦澄美鈴公式 WEB サイト](#)

### ■ 自己ベスト記録 (2023年3月1日現在)

走幅跳	6m67 (+1.6)	2022年9月	第70回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
走高跳	1m82	2015年10月	関西学生陸上競技種目別選手権大会

### ■ 2021~2023年 主な試合結果 (走幅跳)

2021年2月	2021 Japan Athlete Games in Osaka・室内競技	優勝	6m35
2021年3月	第104回日本陸上競技選手権大会・室内競技	優勝	6m33 (NGR)
2021年4月	第69回兵庫リレーカーニバル	優勝	6m69(+3.0)※ 試技2回目の 6m65(+1.1)は NGR
2021年5月	READY STEADY TOKYO	優勝	6m48 (+0.6)
2021年5月	第65回関西実業団陸上競技選手権大会	優勝	6m42 (+ 0.4NGR)
2021年6月	第8回木南道孝記念陸上競技大会	優勝	6m47 (+1.9)
2021年6月	第105回日本陸上競技選手権大会	優勝	6m40 (-1.3)

2022年3月	2022 Brisbane Track Classic	優勝	6m42(+1.6)
2022年4月	第70回 兵庫リレーカーニバル	優勝	6m60(+1.8)
2022年5月	第9回木南道孝記念陸上競技大会	優勝	6m43(-0.6)
2022年5月	セイコーゴールドングランプリ陸上 2022 東京	優勝	6m63(+0.5)
2022年6月	第106回日本陸上競技選手権大	優勝	6m43(-2.5)
2022年7月	オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会	予選 20位	6m39(+0.4)
2022年8月	2022Athlete Night Games in F U K U I	優勝	6m49(+0.2)
2023年2月	Golden Fly Series Bangkok 2023	第2位	6m47(-0.5)
2023年3月	Brisbane Track Classic	第3位	6m48(+1.3)

## 走り幅跳びの女王！日本では負けなし！

### しなやかなジャンプで世界での活躍を目指す

### 抜群のスタイルや引き締まった腹筋など、競技外での注目も多数

小学校の6年間は水泳を習いながら、小・中学校の部活ではバスケットボール部に所属。大阪府立山本高校で陸上競技を始め、高3の全国高校総体の走り高跳びで9位を記録する。

高校卒業後は武庫川女子大に進学。武庫川女大では、当初、走り高跳びが専門で、2年生の時にインカレで2位の成績をおさめる。しかし、走り高跳びの記録が伸び悩み、後で始めた走り幅跳びでインカレに優勝するなどの結果が出るにつれ、軸足を走り幅跳びに移していった。

大学4年の時に、数々の選手を育てた太成学院高の坂井裕司監督に出会い指導を受け、走り幅跳びで更なる成長を遂げる。本格的に走り幅跳びを始めて、わずか約2年で、日本選手権で初優勝を果し、日本のトップに立った。

大学卒業後は、「シバタ工業株式会社（本社：兵庫県明石市）」に入社し、入社後も競技を続ける環境で、念願の五輪出場を目指している。

2021年4月に行われた第69回兵庫リレーカーニバルでは自己ベストを大きく更新する6m65(+1.1)をマークし日本歴代記録4位タイにまで浮上し注目を集めた。

2022年7月、初めての日本代表としてオレゴン2022世界陸上に出場を果たす。予選敗退ではあったが、23年の世界陸上、24年の五輪に向けて着実に経験を積んだ。

活動はアスリートの枠にとどまらず、そのルックスとトレーニングで鍛えられた抜群のスタイルの良さにも注目が集まり、所属先の「シバタ工業」のレインブーツのイメージガールを務めるなどの一面も持つ。

また試合前のゲン担ぎに、美容院やネイルサロンに行く女子力の高いアスリートである。

自身の様々な活動を通じて、まだマイナー種目である女子跳躍競技を盛り上げ、人気やレベルを高めて、競技の発展につなげていく存在になるべく活動中である。